

～子どもの学びと育ちを支え、質の高い幼児教育・保育を目指して～



つむぐ

No. 12

令和3年 6月 3日発行 袋井市幼児教育センター

友達とかかわる力



他児がしていることに興味をもち関わる1歳児

袋井の幼児教育で育成する力

生活習慣	自分のことは自分でできる	(1)自立心
		(2)道徳性 規範意識の芽生え
		(3)健康な心と体
		(4)社会生活との関わり
学びに向かう力	みんなと頑張れる	(5)自然との関わり・生命尊重
		(6)言葉による伝え合い
		(7)協同性
基礎となる力の思考・表現力	考える・やってみる	(8)思考力の芽生え
		(9)数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
		(10)豊かな感性と表現

遊びへの興味関心から友達とのかかわりが始まる

幼児にとって園生活は初めての集団生活の場です。そこで信頼できる保育者とかかわることで人を信頼するようになり、次第に興味が届いていきます。

友達がしていることが気になり、まねしたり同じことをしたりすることで友達への関心が高まり、人とかかわる喜びを体験します。

遊びを通して友達とかかわることを楽しむ

興味をもった遊びを一緒にする中で、おもしろさを共有したり、完成を喜び合ったり、時に友達と考えが合わず悔しさや悲しさを感じたりするなど、様々な体験を重ねていきます。

園ではじっくり遊ぶ時間を設け、一人一人の思いを出したり、相手のよさに気付いたりできるように支え、友達とかかわる楽しさが感じられるようにします。

遊びを通して友達関係が深まる

5歳になると、友達同士で遊ぶことが楽しくなり、共通の目的に向かって一緒に遊びを工夫し、協力して進める楽しさを味わうようになります。幼児期の友達とかかわる力が、小学校での自己発揮や協同する姿につながります。



ごっこ遊びを通して友達と関わる楽しさを知る3歳児



目的に向かって力を合わせる5歳児

本市では、「袋井市就学前教育・幼小接続カリキュラム」に基づき、10の力を育成する教育を行っています。幼児教育センターだより『つむぐ』では、市内の幼稚園や保育所(園)こども園での実践の様子などを紹介しています。

袋井市教育委員会 幼児教育センター 86-5511 幼児教育センターHP <https://fukuroi-education.edumap.jp>

